

## 2006年 年頭挨拶

2006年1月11日

J A B M会長  
原田 英樹

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には久方ぶりの休日を、ご家族共々楽しくお過ごしになられたものと拝察申し上げます。

各企業は全体的に、今期は史上最高の収益を出すことが確実視されております。デフレも終了間近と見られており、景気は好調に推移しているように見えます。日本企業は国内で生産すべき製品および技術と、国外で行うべきものとを、明確に峻別出来るようになってきたと思います。

昨年暮れから今年初めに掛けて、異常に寒く、多量の雪に見舞われました。異常気象は日本ばかりでなく、北半球は大変寒く、南半球は逆に非常に厚い日々との事ですから、異常気象はますます激しさを増しているように感じます。この問題を少しでも救う役目を、我々が関与している磁性材料で果たすことが出来ればと考えます。

昨年の12月2日は自動車の排ガス対策、燃費向上の切り札として登場した「ハイブリッド車」に焦点を当て、磁石ばかりでなくヨーク材料を含めた、広い意味での磁性材料との関連を、恒例の国際シンポジウムで報告しました。最新技術や市場動向を、世界最高の講師により解説いただきました。また昨年9月には磁性材料の新しい応用、磁気シールド関係や新成形技術の技術例会、5月には「磁気と生体」に焦点を当て技術例会を開催致しました。いずれも多数の方々にご参加いただき、盛況でした。今後も磁性材料を取り巻く技術、応用、市場を見極め、最新情報を皆様に提供して参りますので、引き続き強力なご支援をお願い申し上げます。

ボンド磁石の生産統計は生産会社の海外移転により、正確な統計を取ることが益々困難になってきております。企画委員会では、統計数字の収集を公式ばかりでなく、非公式にも努力をし、かなり正確にまとめていると考えております。2005年はフレキシブルフェライトが04年を底にして国内生産が増加し、重量で103%、金額でステッカーなどの特需も幸いし、114%33億円、日系世界全体で61億円となりました。リジッドはマグロールの海外生産移転が継続し、小径化および価格低下も影響して、重量で96%、金額で9

6%109億円、日系世界全体で201億円となりました。希土類は小径HDD用モータが大幅に増加し、また特殊モータに特殊成形技術で対応する需要も堅調でしたが、国内生産は重量で88%、金額で94%68億円、日系世界で265億円となりました。ボンド磁石全体では国内210億円98%、世界で527億円101%であります。

2006年のボンド磁石の生産は、海外移転はほぼ一段落し、国内での特色ある生産が堅実に推移するものと思われます。海外生産は各種モータ用が確実に増加しますが、小型化と単価の低下が継続するとおもわれます。

協会の運営は引き続きスモーレストオフィス作戦を継続し、多田専務理事の縦横の活躍で、堅持致します。会長などの人事は思い切った若返りを図り、新鮮な企画で更なる発展を期したいと考えております。今後とも強力なご支援、ご協力をお願い申し上げます。

以上